

令和7年度第1回 新宿区外部評価委員会 議事概要

開催概要

開催日：令和7年5月19日（月）

場所：新宿区本庁舎6階第3委員会室

出席者：

外部評価委員（15名）：稻継裕昭（会長）、山本卓、竹内真雄、戎井一憲、風間義民、小杉美恵子、小宮領、佐伯康之、藤川裕子、大川内初実、大西秀明、御所窪和子、津吹一晴、中曾清之、安井潤一郎

区職員（4名）：中野企画政策課長、西澤副参事（特命担当）、奥井主任、西崎主任

議題

- 1 令和7年度の外部評価委員会の評価方針について
- 2 令和7年度外部評価の対象について
- 3 部会の日程について

議事要旨

1 令和7年度の外部評価委員会の評価方針について

【事務局説明】

資料1～5に基づいて説明。

【主な議論・意見】

【委員】

議事録でボリュームが大きい事務局説明は要約しつつ、委員の意見はしっかり反映すべきではないか。

【事務局】

事務局の説明は省略し、委員の意見は趣旨を損なわないように注意しながら要約する。

【会長】

議事録の形式を概要版とすることは国や都、他自治体の審議会でも一般的である。全ての発言の議事録は別途残しておけば、情報公開請求があった際に対応可能。

【委員】

評価テーマの決定プロセスは？

【事務局】

委員会の議論や区の重点施策の状況を踏まえ、事務局と部会長が案を作成し、年度初めの全体会で提示する予定。

2 令和7年度外部評価の対象について

【事務局説明】

資料6に基づいて説明。

【主な議論・意見】

【委員】

「防災対策の強化」のテーマは今年度は3つの部会で評価するのか？

【事務局】

1部会1テーマずつ評価を行い、「防災対策の強化」は第1部会が担当。防災対策は分野が広く、事業数も多いことから、来年度も継続評価することも検討する。

【委員】

「1.効果的・効率的な行財政運営」の評価対象は、「区税収納率の向上」や「滞納整理業務の一元化」などの歳入を最大化する事業のほか、「行政手続のオンライン化等の推進」や「電子区役所の推進」などITをベースにした事業、DX人材を育成する事業などがあり、広範なテーマであるが、事業の選定理由は？

【事務局】

個別施策を構成する計画事業については、このテーマに対して中心的な役割を果たすため全て選定し、あわせて計画事業に関連する経常事業も対象事業として選定している。

【委員】

「広報活動」というのは、具体的な区の行うインプットとアウトプットの改善状況の開示など、ディスクロージャーの在り方を広報活動として検討していくということか？

【事務局】

今回の対象は「広報活動」ではなくて「広聴活動」で、区民の皆様からのご意見を民意識調査や区政モニターアンケートなどを通じて調査するほか、法律相談などの相談業務が含まれている。

その中で、区政情報の電子化も広聴活動の事業に含まれており、IT化を目指している事業でもあるため、今回はこの事業も選定した。

【会長】

外部評価の視点と評価指標の見直しについて

・これまでの外部評価は、内部評価シートに記載された内容と基準に基づいて行われていたが、今年度は外部評価として、内部評価とは異なる視点で評価を行うべき。

・評価指標を委員会で独自に新たに設定したり、他自治体との横比較や過去との縦比較を実施したりするのも良いと思っている。

行政DX（デジタルトランスフォーメーション）の具体例

・予算書や議案の提出形式（紙またはPDF）によって業務効率が大きく変わるため、議会資料のデータ化が進めている自治体が多い。

・一方新宿区では議会資料が紙とPDFの併用で、結果的に職員の負担が増加しているが、そういった点は内部評価シートの記載内容や評価指標に表れない。

他自治体の先進事例の紹介

・中野区役所では、部長が統括部長室に集まり、フリーアドレスで業務を行っている。

・情報が個人に閉じない仕組みで、意思決定が迅速で、行政改革の好例とされている。

視察先の選定について

- ・新宿区だけを視察しても横比較ができないため、渋谷区や中野区など、先進的な取組をしている自治体も視察対象にすべき。

経年比較（縦比較）の重要性

- ・内部評価シート上は短期間の比較のみであるが、外部評価では10年単位など長期の変化も見る視点も必要。

【委員】

テーマ「1. 効果的・効率的な行政運営」の計画事業63~65（関連事業）は、評価はせずに内容を確認することであったが、外部評価は行わないということはよいか？

【事務局】

そのとおり。

【委員】

第3部会はITに関する専門知識が必要で、ボリュームが大きい一方で、第1部会は比較的負担が軽そうに見える。割振りのバランスは大丈夫なのか？

【委員】

第1部会には防災に詳しい委員がいる一方で、IT関係に知見がある方もいる。

【会長】

部会の組替え、委員の入替えは可能なのか？

【事務局】

委員の入替えは想定しておらず、部会の日程調整を既に先に行ってしまったが、もし日程が合えば委員間の交代は可能。

【委員】

各部会の評価作業後、委員会としての評価をまとめる全体会の前に各部会の評価対象事業や評価結果を早めに情報共有してほしい。

【部会長】

テーマを選ぶ形で部会を決めるのは調整が難しくなる可能性がある。自分の部会以外の部会にもオブザーバー参加できるようにしたうえで、全体会で他の部会に対する意見を反映・調整できるようにしてはどうか。

【事務局】

取りまとめの全体会の事前に他の部会資料を共有するほか、他の部会をオブザーバーとして傍聴することもでき、全体会で意見を反映していくことも可能。

【会長】

ではそのように。

【委員】

第2部会の「区有施設のマネジメント（旧都立市ヶ谷商業高等学校の将来活用）」について、総合政策部が所管になっているが、この事業は教育関係も関わっているので、例えば、教育委員会にヒアリングの際に来ていただいて議論をすることも可能か？

【事務局】

区の組織が横断的にまたがっている事業について、教育委員会で専門的にお答えすべき質問は、教育委員会の担当部署を呼ぶことも可能。

【委員】

外部評価委員として一番大事なのは、るべき姿を議論しながら評価することだと感じている。

区には多様な意見があり、例えば環境保護を進めてほしいという意見がある一方で、公園の空き地に施設を作りましょうというように相反した意見が出ることもある。

外部評価委員会は、一つのテーマに偏らずトータルで考えて、区民にとって望ましい在り方をみんなで共通認識を持って評価していくことが望ましい。

【会長】

トータルな視点を持つのは必要であるが、この委員会で区政全般について議論するのには、百家争鳴で収拾がつかなくなるため難しい。

今回の見直しでは、1部会1テーマに絞っており、1テーマを議論するときに、他の視点も視野に入れて議論するということになる。

【委員】

「公共施設マネジメントの強化」について、新宿区が持っている公共施設は、大体どのくらいの規模なのか？例えば、固定資産価格がどれくらいあるのか、公共施設を運営していく中で、どのくらいの経費をかけているのか。全体を見る中で、今回の評価テーマでは何割くらいをカバーしているのか？

【事務局】

今、具体的な数字は分からないが、区の「公共施設等総合管理計画」において、施設数や今後の方針、お金のことも記載されているため、この計画書も第2部会の参考資料として提供し、評価いただきたい。

【会長】

昔はどこの役所にもなかったが、神奈川県秦野市が再配置計画をつくって、そこが火つけ役になって、総務省でも公共施設等総合管理計画の策定に関する指針を出して、各自治体がつくるようになり、今ではそれが分かる状態になっている。

【委員】

経常事業666「土木アセットマネジメントシステムの運用」について、このシステムは区役所本庁舎7階で見せてもらえる道路台帳検索システムのことか？

【事務局】

このシステムは、道路や橋りょう、道路施設の情報を管理しているシステムのこと。

【委員】

そうすると、この事業はDX化にも関わるため、第3部会がいい意味ではみ出してもいいのかなと思った。

【委員】

新宿区は地価が高いため、高度利用を進めていくというのが大切で、ある程度集約をしていけばアセットを売却するということもできると思うが、色々統合していくことはできるのか？

例えば、「旧都立市ヶ谷商業高等学校の将来活用」などでは、どういう形でアセットの組替えなどを判断されているのか？

【事務局】

この事業は、都立高校があった場所の跡地に複数の施設を集約して整備する事業で、中学校を移転して新しく校舎を建て、中学校の一部を区立図書館、空いたスペースを防災広場として整備するなど、ご指摘の考え方で区の施設マネジメントを進めている。

【委員】

今年からの新しい行政評価の趣旨は理解した。

このことはいつ区民に伝えるか？区民不在の議論になるのはよくない。

【事務局】

今年度から新しい方法で実施することについては、議会に対しては既に報告を済ませており、明日の特別委員会でも重ねて報告する予定。

あとはホームページで、令和6年度最後の全体会での行政評価の見直しについての議事概要を公表しているが、広報新宿に見直し内容を載せるかまでは現在予定していない。

【委員】

区民のために活動するという委員の役割が大事だと思う。今年は新たな方法で実施していることを区民に周知することは必要では。

【事務局】

広報新宿で内部評価、外部評価、最後の区の総合判断も含めて、年間で計3回掲載していく中で、新たな方法で実践したことについても触れられないか検討していきたい。

【会長】

この3つのテーマで今年は進めていますといった告知をしておくといいと思う。

【委員】

区のホームページにこの活動や議事録を掲載しているということであるが、どれぐらいの方が見ているのか。私もずっと新宿区にいながら、区のホームページを見たこともなかった。

区民の目に届きづらいのであれば、ツールを見直す検討も大事だと思う。

【事務局】

ホームページへのアクセス数の分析についてはできていないが、区民への周知については、かねてからこの委員会でも、色々な事業で区民にしっかり届けるにはどうすればいいかという視点からのご意見をいただいているため、今後の令和8年度のテーマ検討に当たっては、区民への広報のあり方ということも候補の一つとして考えている。

【委員】

奈良県天理市の中学校の避難所では、体育館を一律の避難スペースとするのではなく、あらかじめ避難者の属性ごとに各教室を避難スペースに割り振り、普段から顔見知りの人たちも避難できる取組がなされていた。こういった他地域の様々な取組をこの委員会で共有することは大事であり、それ以上に議会との連携も重要と考える。

【会長】

議会との関係はなかなか難しいところであるが、この委員会と議会とが話し合いをするような場面があってもいいと思う。

3 部会の日程について

【事務局説明】

資料7に基づいて説明。